

【オークランド市】

2010年に合併しオークランド市となった旧マヌカウ市とは、当時の市長が、国際交流を深めるために、姉妹都市提携を考え、その提携先として、英語圏の国の中からいくつかの都市を候補として選定し検討していた時に、ニュージーランド大使館からの助言を受け、マヌカウ市を候補とし、1981年の現地訪問後に、正式にマヌカウ市へ姉妹都市提携を申し入れました。

その後、1982年に、マヌカウ市議事堂で姉妹都市提携確認書に調印しました。

【チチハル市】

1980年に、中国を訪れていた市民訪問団の一部の参加者が、本人又は親族が昔、軍人や開拓団員、満州鉄道関係者等の民間人としてチチハル市にゆかりのある人で、当時未解放地区であったチチハル市に、戦後初めて訪れました。

その後、1983年に、チチハル市長の親書を携え来宇した副市長から、友好都市提携の申し入れがありました。

1984年に、当時のチチハル市長が本市を訪問し、友好都市提携確認書に調印しました。

【オルレアン市】

当時、オルレアン市は、日本のテクノポリスを推進している都市との姉妹都市提携を希望しており、1988年に同市経済開発協会が、候補先の都市の一つとして宇都宮市を訪問しました。

その後、オルレアン市から姉妹都市提携の申し入れがあり、当時の議長を含む議会代表訪問団によるオルレアン市視察の後に、当時の市長を含む訪問団がオルレアン市を訪れ、姉妹都市提携確認書に調印しました。

【タルサ市】

1985年に、タルサ市ワシントン高校の日本語教諭の紹介で、宇都宮北高校がワシントン高校と姉妹校を提携しました。

同年、日本企業の誘致及びマーケット調査のため来宇した当時のタルサ市長から、姉妹都市提携の申し入れがありました。

1991年、タルサ市長が本市を訪問し、姉妹都市提携について懇談し、同年に市長と姉妹都市提携調査委員がタルサ市を訪問しました。

1992年に市長を含む訪問団がタルサ市を訪れ、姉妹都市提携確認書に調印しました。

【ピエトラサンタ市】

1994年、ローマにアトリエを構える彫刻家でイタリア国際文化交流協会の理事が大谷地区を訪問し、大谷の地下空間を視察し、石の彫刻の背景として最適であると評価されました。

同協会により大理石の採掘が盛んなピエトラサンタ市を紹介され、同年に宇都宮市市議会訪問団、そして大谷石材協同組合欧州訪問団が同市を訪問し、採石場やアトリエ、展示場などを視察しました。

その後、両市の市長が相互に両市を訪れ、今後の交流について協議を重ね、ピエトラサンタ市長から、「強固な関係を築きたい」との親書をいただき、1995年8月にピエトラサンタ市長を迎え、議会議場において、文化友好都市提携確認書に調印しました。